

平成31年度より

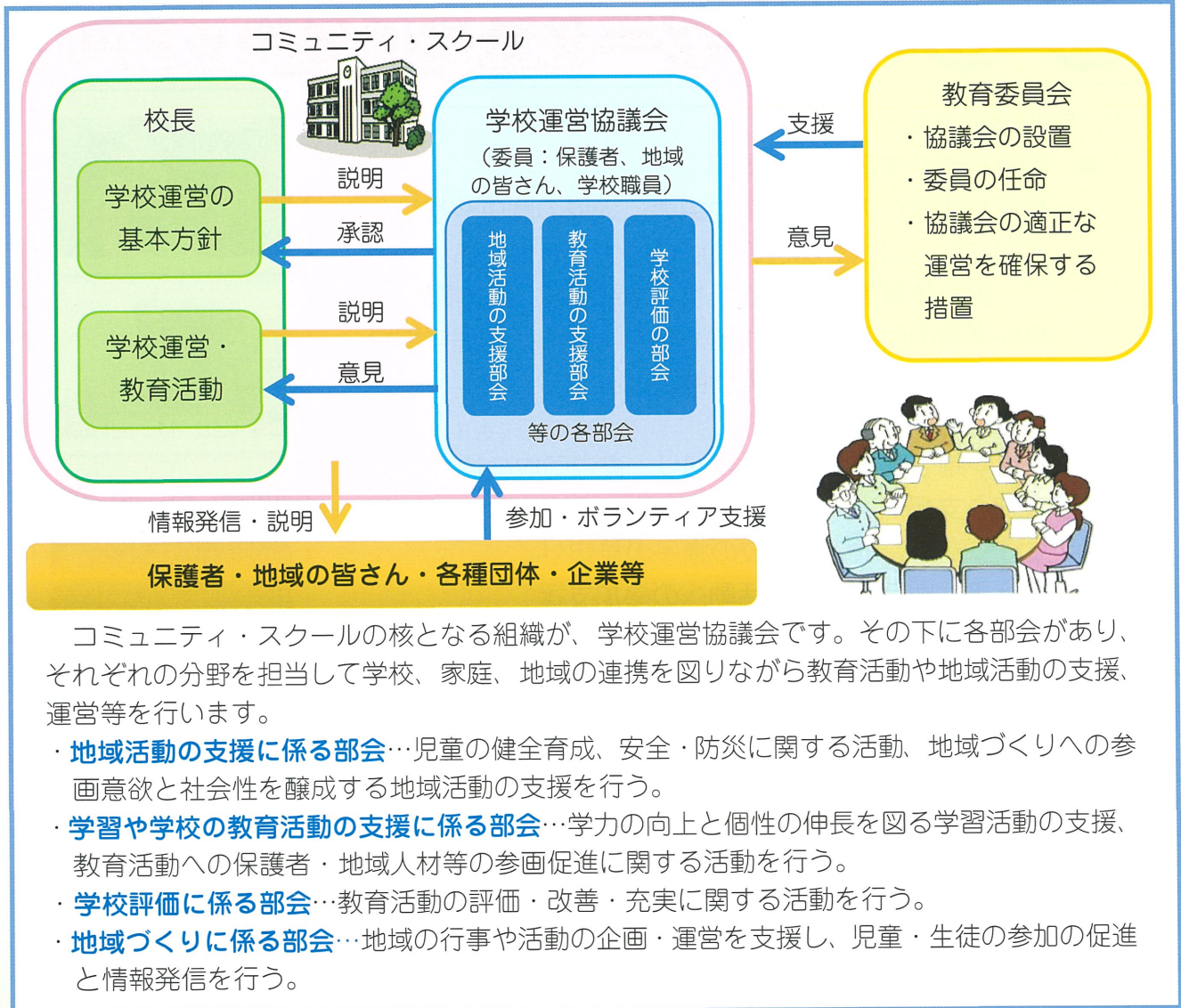
輪之内町全小中学校で コミュニティ・スクールを実施します

～地域とともにある学校づくりを目指して～

輪之内町では、平成30年度に大藪小学校で学校運営協議会を設立し、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めてきました。また、他の小中学校において、輪之内町コミュニティ・スクール推進協議会を立ち上げ、学校運営協議会制度を導入した学校運営の準備を進めてきました。

平成31年度より、輪之内町全小中学校において、未来を担う子どもたちの豊かな成長や、子ども・学校・地域が抱える様々な課題の解決のために、学校・地域・家庭の三者が互いに知恵を出し合い、協力しながら「地域とともにある学校」づくりを進めていきます。

Q1. コミュニティ・スクールはどんな仕組みなの？

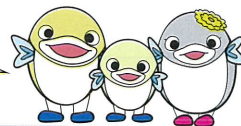


生きる力、
学力の育成

地域の
教育力向上

地域コミュニティ
の構築

Q2. コミュニティ・スクールのメリットや魅力って何かな？



1. 組織的・継続的な体制の構築 = 持続可能性

校長や教職員の異動があっても、学校運営協議会によって地域との組織的な連携・協働体制がそのまま継続できる「**持続可能な仕組み**」です。

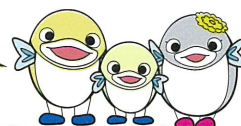
2. 当事者意識・役割分担 = 社会総掛かり

学校運営協議会での協議等を通して、子どもたちがどのような課題を抱えているのか、地域でどのような子どもを育てていくのか、何を実現していくのかという「**目標・ビジョンを共有**」できます。

3. 目標・ビジョンを共有した「協働」活動

校長が作成する学校運営の「**基本方針の承認**」を通して、学校や地域、子どもたちが抱える課題に対して関係者がみな当事者意識をもち、「**役割分担をもって連携・協働による取組**」ができます。

Q3. 保護者や地域住民として、どんな協力ができるかな？



スクール・サポーターを各校で募集します！

1. 学校活動支援

● 学校行事や学習活動の支援

校区文化祭への参加要請や協力。地域の歴史や祭りなどの文化、治水や水との闘いの歴史、昔のくらしや遊び、戦争体験等について話す。学習相談、読み聞かせ、校外学習の引率補助、裁縫やミシン操作、調理実習などの支援、クラブ活動の講師など。

● 環境整備等の支援

花壇や畑づくり、校庭の草刈り、資源回収の協力など。

2. 安全安心支援

● 見守り隊：児童の登下校の様子の見守り。

3. 地域行事、ボランティア活動への参加支援

● ふれあいラジオ体操、校区ふれあい運動会などへの参加要請や協力など。

※ 上記は一部の内容です。詳しくは、各校の募集チラシをご覧ください。



菊づくり



生活科 野菜の栽培



家庭科 裁縫



音楽 箏の演奏



稲刈り作業



読み聞かせ



見守り隊



治水の歴史